学校番号	T0106

平成 31 年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『最新高等保健体育』改訂版（大修館書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・運動の楽しさや喜びを体感できるよう、バスケットボール、バレーボール、バトミントン、卓球等の屋内種目を中心に、基礎的な技能を習得し、競技ルールについても理解する。
・ティーム・ティーチングにより、多様なレベルのトレーニングを行う。
・屋外種目についても適宜学習する。

2　学習の到達目標

・生涯にわたって身体運動を継続できる基礎と習慣を身につけるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断	c:運動の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	運動の楽しさを体得している。 課題解決のために努力している。 お互いに協力して運動している。 安全に配慮して運動している。	適切な課題を設定している。 運動の合理的な行い方や、計画的な活動の仕方を工夫している。	個人的、集団的技能を身につけている。	運動の特性、練習法、審判法を理解している。 試合の運営方法を身につけている。
評価方法	授業に参加する姿勢 授業態度の観察	授業態度の観察	運動の技能の観察	指示を理解しているか観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="2">前期</td><td rowspan="3"></td><td>・オリエンテーション。
※活動目標・年間計画と授業の進め方を説明する。</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td rowspan="3">受講状況観察
運動に関する関心
活動に取組む意欲
授業時の態度

出席の回数
出席状況

自己評価
（面接による）

※能力の差が大きく、また、個人差も大きいことから、個々への対応が必要なため、巡回しながらの指導を行う。</td></tr>
<tr><td>・各自、設定種目から選択させる。

設定種目：バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、テニス、ソフトテニス、ショートテニス、サッカー、フットサル、ソフトボール、陸上、水泳、筋トレ

設定種目にない種目を希望する生徒がいれば、人数、活動場所を考慮し、できる範囲で対応する。</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>a: 基本練習や試合のルール等を理解し、安全に注意して、自己の能力に応じて工夫し、自ら進んで活動する。
a: 障害のある生徒に対する配慮ができるようにする。
a:お互いに協力して運動している。

b: 適切な課題を設定している。
b: 運動の合理的な行い方や、計画的な活動の仕方を工夫している。

c:個人的、集団的技能を身につけている。
c:経験のある生徒が、初めての生徒や経験の浅い生徒を指導できるようにする。

d: 授業の内容を理解している。
d: 運動の特性、練習法、審判法を理解している。
d: 試合の運営方法を身につけている。</td></tr>
<tr><td>後期</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。